

「聴覚障がい者」

支援ボランティア団体交流会

# コミュニケーションを深めて防災につなげよう！

6月26日、福岡公民館で聴覚障がい者と支援ボランティア団体の交流会が行われました。この交流会は、中津川市と飯田市の聴覚障害者協会、支援ボランティア団体が毎年開催しており、今回は福岡地区に拠点を置く、すみれの会が中心となって、企画・運営を行いました。

交流会では、笑いヨガ講座と、防災士による東日本大震災での災害ボランティア活動について講演が行われました。



▲中津川市と飯田市から約50人が参加



▲防災士による講演会のようす

講演では、避難所生活の現状や、障がいのある方を支援する災害ボランティアの必要性などを踏まえ、「非常時に備え、日頃から地域とのコミュニケーションや、防災訓練への積極的な参加が大切である。」と話がありました。参加者からは「今回の大震災を他人ごとと思わず、自分でできることを考えたい。」などの感想があり、今後関係機関が協力し合い、大災害に備えることが確認されました。



## どきどきわくわく

### 初めての手話体験

#### 中津川シニアボランティア手話勉強会

5月19日と6月16日に、中津川市文化会館で

中津川シニアボランティアの会員14人が障がい者を支援するボランティア活動をを行うためのスキルアップを目的に岐阜卓手話サークル協議会中津川支部かやの実会を講師に迎え、コミュニケーションツールの一つである手話の勉強会を開催しました。

会員は初めて学ぶ手話に四苦八苦しながらも、何回も繰り返し挨拶や自己紹介の方法を学びました。



#### 参加者の感想

- ・楽しく学べて良かった
- ・簡単に覚えられないので、継続して勉強したい



# 日本のまんなかで

## ボランティア活動

〈全富士通労働組合連合会による

社会貢献活動〉

7月2日、全富士通労働組合連合会の職員126人が中津川市内の13ヶ所の福祉施設でボランティア活動を行いました。

これは労働組合創立40周年記念行事の一環で、北海道から沖縄まで全国各地にある事業所の社員が中津川市に集り、行われたものです。

活動内容は、福祉施設内の清掃・車イスの修理・敷地内の草刈や植木の剪定などを行いました。また、施設を利用して子どもや高齢者との交流も行いました。

参加された方からは「仕事では経験できないことができた」「お年寄りと交流できて楽しかった」などの感想がありました。



▲猛暑の中で植木の剪定



▲食事の準備と交流をしました



# 視覚障がい者とボランティアが 一緒に過ごす大切な時間

第19回三者交流会開催

中津川市視覚障害者協会と支援ボランティア団体の点訳サークルともしび会・音訳ボランティアさざなみ会・点訳サークルよつばの会が、情報交換と親睦を目的に、日帰りバス旅行「三者交流会」を開催しました。

今年は、37名の方が参加され、岡崎城の藤棚、八丁味噌工場の見学や真福寺を訪れました。豊川稲荷はあいにく雨に降られてしまいましたが、参拝や買い物を楽しみながら交流を深めました。



◀岡崎公園散歩：  
雨間に新緑の風を感じてお話し  
弾みました

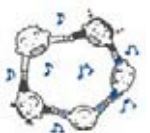


▲藤棚：藤の甘い香りと可憐な花びらに  
触れ、初夏の花を楽しみました



◀八丁味噌工場見学：  
大きな味噌樽に  
触れてその大きさにびっくり

つながる・ひろがる  
ボランティア団体  
紹介コーナー



ボランティアサークル

「加子母日赤奉仕団」

(発足 S 52.10 会員数 56人)

毎週月曜日と金曜日に2人から3人のグループでデイサービスとシヨートステイへ出かけ入浴後の整髪、水分補給などお手伝いをしながら高齢者との交流を楽しんでいます。利用者さんからは「やさしく話しかけてくれてうれしいよ」との声も聞かれます。



福祉ボランティアに関することは  
社協地域福祉課にお気軽に  
ご連絡ください

☎06-11111(内)638

